

⑤7 浜田港 福井地区 臨港道路整備事業

受賞機関 国土交通省 中国地方整備局
境港湾・空港整備事務所

キーワード 防食機能付き常設足場、コスト削減、点検作業の効率向上

全建賞審査委員会の評価ポイント

取扱貨物の安全かつ効率的な輸送を図るため、浜田港福井地区と山陰自動車道を結ぶ臨港道路を整備した事業。鋼桁間に設置した防食機能付き常設足場で桁間内部を遮閉することで、金属溶射による重防食を不要とし、施工コストを削減した点や、防食機能付き常設足場を設置することで桁間内部の全てを点検通路として使用が可能となり、作業の効率性を向上させた点が評価された。

1. はじめに

浜田港は、島根県唯一の国際貿易港として、山陰地域の経済活動に重要な役割を果たしている。特に福井地区は、浜田港全体の港湾貨物の8割を取り扱っており、立地企業の設備投資など更なる貨物の増加が見込まれている。

しかし、福井地区と幹線道路を結ぶ臨港道路は片側1車線であり、増加する港湾貨物輸送に対応できない状況であった。また、当該臨港道路は耐震性が不足しており、災害時の緊急物資輸送に支障を来すことが懸念された。

これらを解消するため、福井地区と幹線道路である山陰自動車道を直結する臨港道路(福井4号線L=1,435m)を整備したものである。



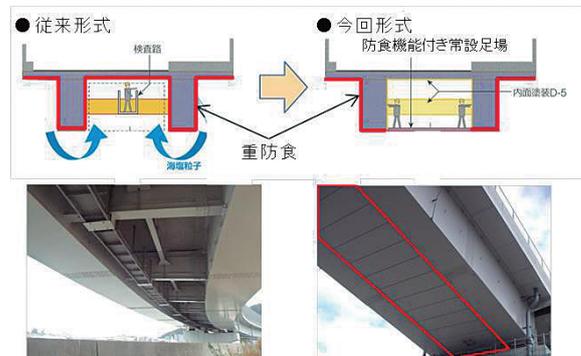
福井4号線 全景

2. 事業の概要

福井4号線は3つの橋梁で構成されているが、そのうち1号橋(L=323.5m)は、海上部に位置する鋼橋であり、飛来塩分に対する防食対策が不可欠である。一般的には橋桁部全面に金属溶射による重防食が必要であるが、施工コストが増大する。また、桁下部に設けられた点検通路から点検・補修を行うが、点検通路から桁部までの距離が長く、容易に点検・補修が行えないことが課題と

なった。

そこで、本橋では、鋼桁間に防食機能付き常設足場を設置し遮蔽することで桁間内部の金属溶射を不要とし、施工コストを削減した。また、防食機能付き常設足場の設置により桁間内部の全てを点検通路とすることで点検・補修箇所への接近が容易となった。これにより点検・補修の作業効率が向上し、海上部に位置する鋼橋である本橋において、ライフサイクルコストの削減を実現した。



防食機能付き常設足場

3. 事業の成果

福井4号線が平成30年3月に供用開始し、福井地区と山陰自動車道のボトルネックが解消され、効率的な港湾貨物輸送が実現することで、地域経済の発展に寄与することが期待される。

また、浜田港唯一の耐震強化岸壁である福井4号岸壁と緊急輸送道路が結ばれることで、災害時における広域的な緊急輸送ネットワークが確保され、安全・安心の確保、地震時における企業活動の継続に寄与することが期待される。

4. おわりに

福井4号線の供用開始から1年が過ぎ、立地企業の皆様から、高い利便性を実感しているとお言葉を頂いている。

浜田港における平成30年のコンテナ取扱量は過去最高を記録しており、福井4号線が益々の発展に寄与することを期待している。

賛助会員 (株)大本組、オリエンタル白石(株)、(株)駒井ハルテック、大日本コンサルタント(株)、日本ファブテック(株)、宮田建設工業(株)、八千代エンジニアリング(株)